



窓辺やテラスで過ごす憩いのひと時。ここでしか出会えない絶景を楽しむ

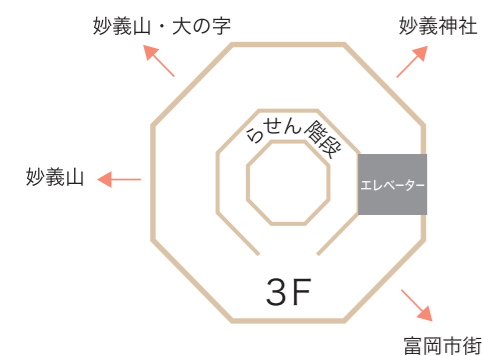


「妙義ビジターセンター」は、妙義ふれあいプラザ「もみじの湯」と「道の駅みょうぎ」とともに、「妙義山パノラマパーク」のエリア内にあります。西には妙義山を構成する三山（白雲山・金洞山・金鶏山）の迫力あるマウンテンビューを堪能でき、東には赤城山・榛名山など県内の山々や関東平野を見渡すことができます。特に高台に建つビジターセンターの3階展望ラウンジからの眺望は素晴らしく、地表の豊かな起伏や広がりに関東平野の始まりの地にいる実感がわいてきます。

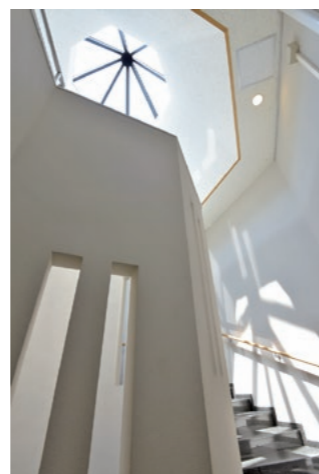
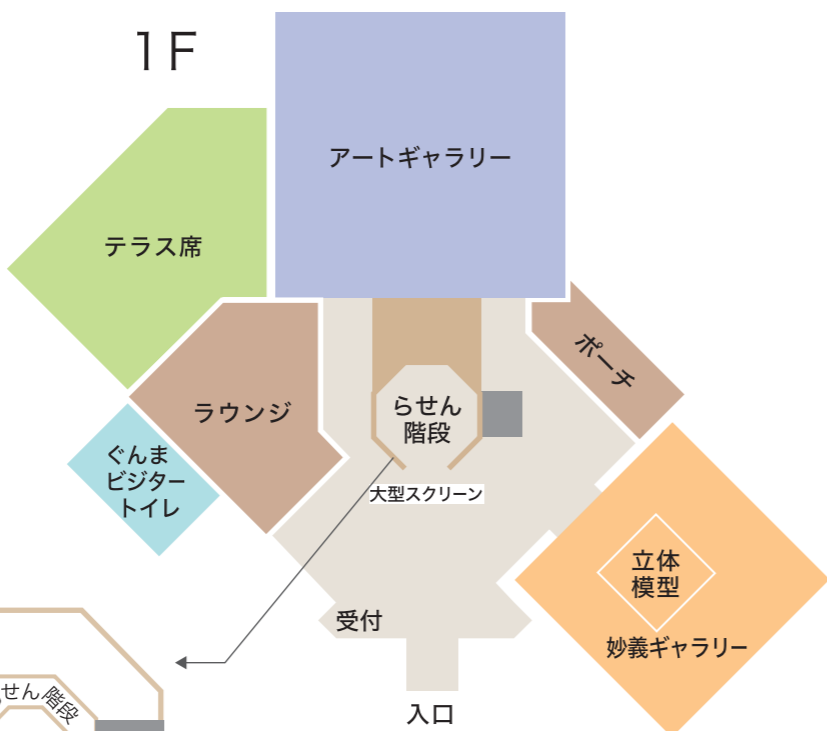
ラウンジや屋外テラス席、3階の窓辺の席では、目前に迫る妙義山の絶景を独り占めすることができます。北側の窓から見える白雲山の中腹に建つ妙義神社は、ぜひ立ち寄りたいたいパワースポットです。



ビジターセンターの北西に位置する妙義神社。その創建は約1500年前といわれ、古来より修験者の信仰の場でした。江戸時代には関東平野の天門（北西の方位）をおさえる鎮守の霊場として、江戸幕府から庇護を受けました。珍しい黒漆塗権現造りの本社は、唐門と総門と並び国の重要文化財に指定されています。165段の石段をはじめ、急斜面に築かれた妙義神社への参拝は、妙義山の神秘に触れる体験です。



富岡市街の眺望



展望フロアにつながるらせん階段

1階に妙義ギャラリー・アートギャラリー・大型スクリーンなどがあり、2階は妙義の植生に関する常設展示が行われています。3階は八角形の展望フロアとなっており、窓辺の特等席で妙義山の迫力ある景色を独り占め。妙義を紹介する本などを手に取ってゆっくり過ごすのがおススメ。



妙義ビジターセンターが始動

「わが国の優れた国土美として欠くことのできないものであって、その自然的なものにおいては、風致景観の優秀なもの」を指定基準に、妙義山は1923(大正12)年3月7日に国から名勝指定されました。



富岡市妙義ビジターセンター
(旧妙義ふるさと美術館)
住所: 富岡市妙義町妙義1-5
電話: 0274-73-2585
開館: 9時~17時(最終入館 16時30分)
休館日: 月曜(月曜が祝日の場合は翌日)
入館料: 無料

群馬県富岡市・安中市・甘楽郡下仁田町の境界に位置し、石門群や奇岩が林立する妙義山は日本三奇勝の一つとして有名です。国から名勝指定を受け、令和5(2023)年3月に100周年を迎えました。

富岡市ではこれを記念し、8月11日の山の日、市立妙義ふるさと美術館を「富岡市妙義ビジターセンター」としてリニューアルオープン。妙義山周辺の観光・自然・歴史・文化・芸術に加え、登山に関する情報を幅広く発信します。

妙義山を多面的に紹介する妙義ギャラリー

妙義ギャラリーでは、中央に設置された立体模型を中心に、4つのパートに分けて展示が行われています。

① 妙義山のカタチのみみつ

奇岩が織りなすギザギザの山のカタチが魅力な妙義山。誕生が約600万年前から200万年前といわれる古火山で、「石門」ができた理由や妙義山の麓で海や海辺の生き物の化石が見つかる理由など、誕生の歴史を紹介します。

② 妙義地域の信仰・観光の歴史

妙義山を形成する白雲山・金洞山・金鶏山のそれぞれには、峰を信仰対象としていたことがうかがえる三つの神社があります。庶民の旅が盛になった江戸時代の文化年間の「妙義街道図」から宿屋や茶屋、豆腐屋、薬屋など約130軒が軒を連ねていたことがわかります。

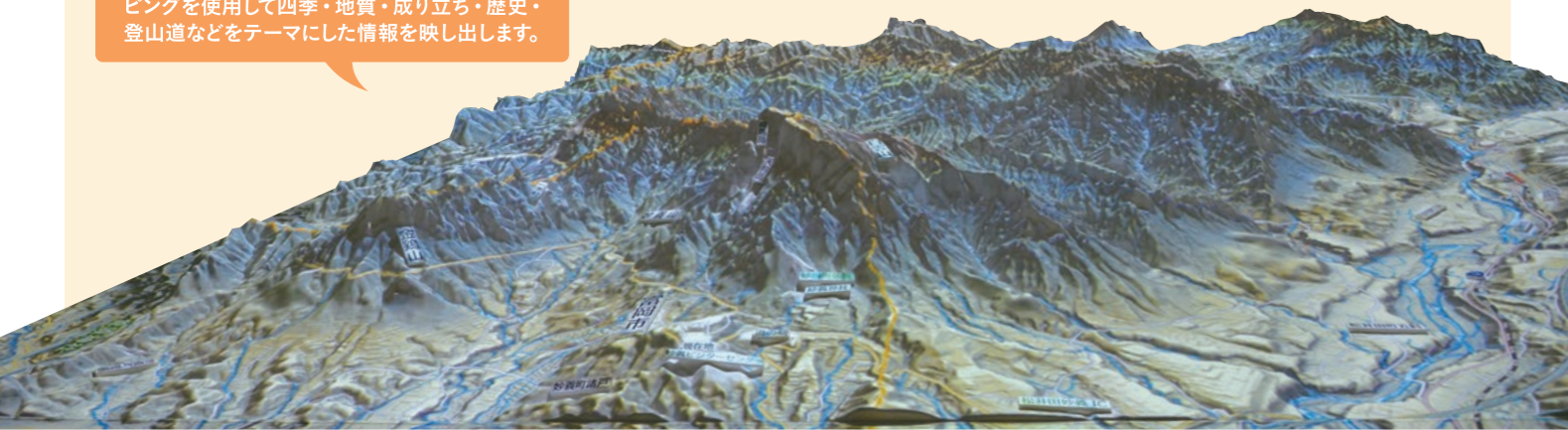
③ 妙義地域の産業・暮らし

田おこしや田植え、収穫などの米作りと併せて行われた養蚕。当時農作業などに使用された道具を農村文化遺産として農家から寄贈されたものを展示。人々の暮らしの様子を伝えます。

④ 妙義山をめぐる登山と文化

日本山岳会生みの親といわれるウォルター・ウェストンと、妙義山の案内人・根本清藏の出会いが日本の近代登山発祥の地といわれる妙義山の登山の歴史を紡ぎました。また、多くの文化人が訪れ紀行文や詩歌、絵画などにして妙義山を描きました。

目玉は4メートル四方の妙義山一帯の立体模型(縮尺約2200分の1)。プロジェクションマッピングを使用して四季・地質・成り立ち・歴史・登山道などをテーマにした情報を映し出します。



ビジターセンター機能を充実装備

見る者を圧倒する妙義山の形状は、観光客も登山者も魅了します。妙義山を中心に、この地域ならではの自然や文化、観光や登山情報をこのセンターに集約しています。

- 妙義地域の活性化をめざす官民協働の「みょうぎプロジェクト2023推進委員会」が中心となり、妙義ふるさと美術館を「妙義文化の発信基地にしよう」と、ビジターセンター機能を追加しました。
- 妙義山の植生などについて調べたり学んだりできる資料を保管・展示しています。
- 妙義山登山・登山技術についての情報を提供しています。
- 落ち着いて滞在できるスペースを確保しています。
- VR(バーチャルリアリティ)技術で、妙義山のリアルな登山体験が楽しめます。
- 大型プロジェクターに妙義地域の四季を映し出し、自然やアクティビティなど観光的な魅力を大画面で紹介します。



アートなコト・モノが集まるアートギャラリー

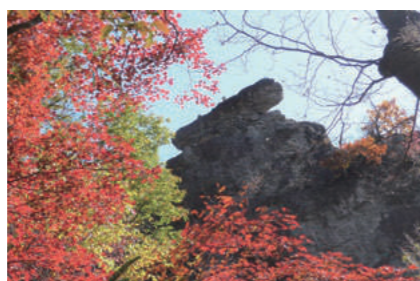
かつて毎年開催されていた「妙義山を描く絵画展」の大賞・優秀作品など力作が常設展示されています。ここは、妙義をテーマに様々な「アートなコト・モノ」が集まる場所として展開していきます。



奇岩が織りなす妙義山の美スポット



「白雲山と金洞山」
妙義山東面の白雲山の麓には妙義神社、西面の金洞山の麓には中之嶽神社が建立され、それぞれ登山口にもなっています。



「大砲岩」
妙義山は火山活動でできた溶岩体で、柔らかい堆積層が浸食され溶岩の岩体が露出し奇岩が誕生。ユニークな名前の奇岩群が日本屈指の山岳美を織りなしています。



「日暮らしの景」
林立する岩の上を雲がゆったりと流れていく。一日中、日が暮れるまで眺めていても飽きないことから、名画のタイトルのような素敵な名称がつけました。



東山道は、古代以来、畿内より東国へ達する幹線道路。近江・美濃・飛騨・信濃・上野・武蔵・下野を通り、のちに陸奥・出羽へと延伸されました。

「堂峯番所」が設けられ、二重に取締りました。関所を取り囲む9箇村が「関所要害村」とされ、村人は山仕事の傍ら抜け道をする者を見張り、発見したときはすぐに関所に知らせることが義務づけられました。



東門と西門の間は95m 幕府と安中藩の両者で管理

「碓氷関所」が正式名となったのは、宝永5（1708）年からです。関所は、中山道を江戸側の「東門」と京都側の「西門」で区切り、その間は約95m。四方を木柵などで囲みました。

関所の管理は安中藩にゆだねられ、管理責任者の「番頭」、番頭を補佐する「平番」は安中藩士が務めました。一方、幕府は安中藩主交代にかかわらず、安定した関所の管理運営を行うため、「同心」7人と「西門番」2人を世襲（定附）で直接任用し、そのうちの同心2人を堂峯番所に配属。当初役人たちは通いでしたが、関所内に住居が整うと家族で常駐しました。

また、安中藩管理の「東門門番」2人と、雑役を担う「箱番（中間）」4人は、領民の中から1年年季で任用されました。

当時の様子を今に伝える 関所手形

関所を通過するとき必要とさ

「入鉄砲に出女」を取締り幕府防衛を担った 中山道 碓氷関所 開所400周年

江戸と京都をつなぐ主要街道として慶長年間（1596〜1615年）に江戸幕府によって整備された中山道は、信越諸国の大名の参勤交代や年貢米輸送路としての役割を果たしました。信濃との境にある碓氷峠の江戸側に「碓氷関所」が置かれ、江戸幕府防衛のため「入鉄砲に出女」の厳しい取締りが行われました。

天然の要害を活かし 横川に開設

正応2（1289）年に、鎌倉執権の北条貞時によって東山道沿いの「関長原」に関所が置かれました。江戸時代に入った慶長19（1614）年、大阪冬の陣のときに徳川四天王の一人井伊直政の長男・直勝が、病弱を理由に家督を弟の直孝に譲り、彦根から移って安中藩3万石を立藩。関長原に仮番所を建て関東防衛の重要拠点としました。

徳川幕府によって、関所が現在地「横川」に置かれたのは元和9（1623）年。徳川2代将軍秀忠が將軍職を家光に生前継嗣する手続きのため両者が上洛する際に、幕府は將軍の留守を警戒し守りを固めようと、碓氷峠山麓の3つの川が合流し険しい山が迫って狭間となった横川の地を、要害の最適地と見なしました。また、関所を回避する抜け道を見張るため、東山道沿い



中山道全69宿のうち、上野国（上州、現在の群馬県）には「新町宿」「倉賀野宿」「高崎宿」「板鼻宿」「安中宿」「松井田宿」「坂本宿」の7つの宿がありました。特に「坂本宿」は東に「碓氷関所」、西に難所の碓氷峠をかえ、大名をはじめ宿泊客で賑わいました。

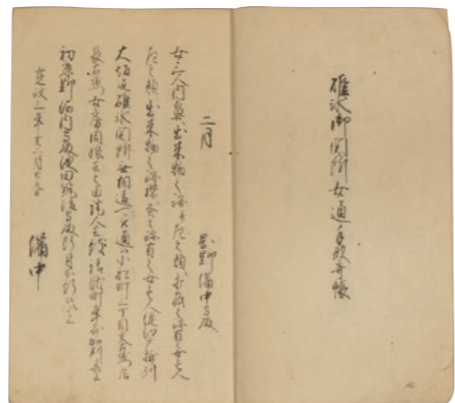
された「関所手形」は、今でも多く残されており、当時の街道を行く人々の様子を伝えていきます。

百姓・町人は村名主や町名主、寺の住持や旅先の宿屋の亭主に手形を書いてもらい関所に提出しました。武家は各藩の発行人が決まっており、氏名・印鑑を事前に関所に登録していました。男性に対して女性の移動は不自由で、関東から出る女性の手形発行人は、幕府留守居役に限られました。

女性の移動が比較的自由になったのは、参勤交代制度が緩和され関所改めが簡素化した、大名の妻子の帰国が自由になった文久2（1862）年からでした。

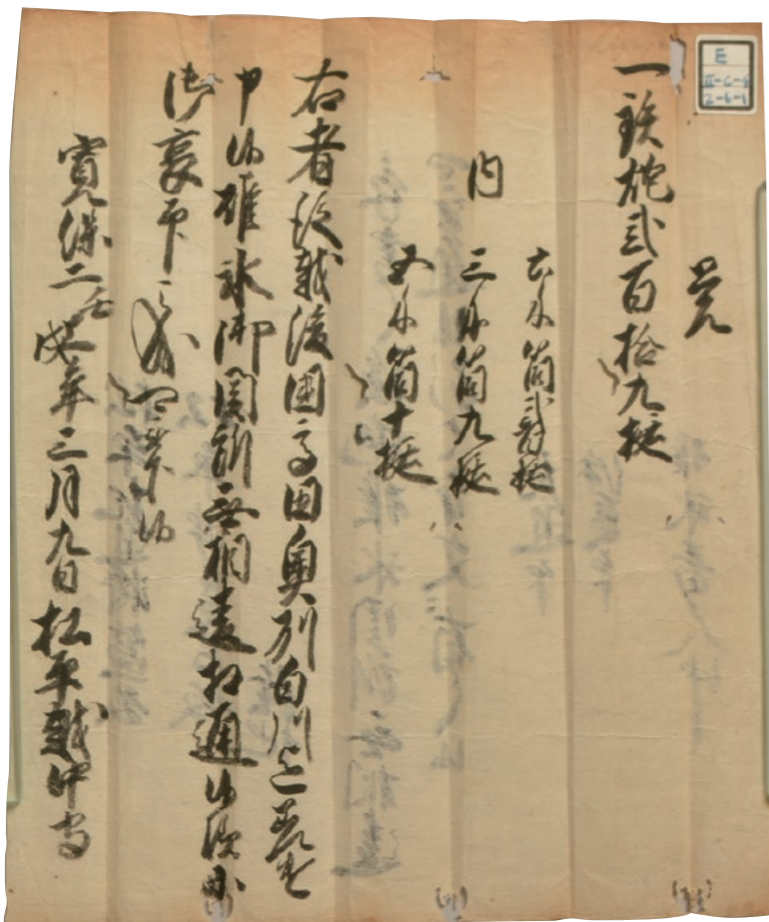
また、入鉄砲（関東への持ち込み）は老中が出す許可証「鉄砲手形」が必要で、紀州・水戸・尾張の御三家は25挺、加賀藩は5挺、その他の藩は3挺以下と決められていました。参勤交代で中山道を利用した加賀藩は、携行した5挺以外の数十挺の

鉄砲を坂本宿の本陣に翌年帰郷するまで預けて関所を通過したこと、当時の史料に残されています。



碓氷御関所女通手形寄帳
「寄帳」には、女性の手形の控えがまとめられています。女性の手形には傷跡や出来物、お灸の跡など体の特徴が記され、「改め女」が実際と記述内容を見比べ本人確認をしました。

鉄砲手形（表）
越後高田城主松平定賢が陸奥白河へ転封したときのもの。
画像提供／安中市



観光資源としての可能性を広げる「碓氷関所保存会」の活動

関所の復元と保存

明治2（1869）年、新政府は全国の関所を廃止。「碓氷関所」は246年の歴史に幕を閉じ、建造物は解体されました。このとき、同心だった後関門造が密かに持ち出した東門の門扉2枚・大柱2本・屋根材6点が、昭和34（1959）年に東京大学教授の藤島亥治郎工学博士の設計で復元される際に、「東門」に取り入れられました。当時、石垣の上に東から登る石段がなかったため東門は西向きに設置されました。

碓氷関所保存会の想いと活動

「この門の中に本物と偽物があり、ます」と興味をそそる切り口でガイドを務めるのは、「碓氷関所保存会」のメンバーの皆さん。会長佐藤健一さんは、「実際の遺構が復元に使われている関所門は唯一ここだけです」と胸を張ります。「碓氷関所保存会」は、関所跡を国史跡として整備し、碓氷峠の鉄道遺産との相乗効果で地域振興を図ろうと、関所跡で観光客に案内を行い、安中市の「歴史の道整備事業」に協力しています。



昭和34(1959)年に復元。門扉等実際に使われたものをとり入れている

現在は、美化清掃、4・5・10・11月の土日祝日・旧盆中・JRのS/L列車運行日に、関所跡の資料館を開館し、来訪者に関所の解説を行っています。

平成28（2016）年11月に安中市と松井田町合併10周年記念の一環として行われた「碓氷のお関所通りゃん祭」での侍行列が、関所400周年を記念して今年10月29日に再現され、気運を盛り上げます。

佐藤会長は「日本4大関所といわれる箱根・新居・木曾福島・碓氷ですが、復元や資料館の整備等、碓氷関所と他の関所では残念ながら大きな開きがあります。保存会も高齢化しているので、持続可能な体制作りが求められます。地域を挙げてこの歴史遺産にもっと磨きをかければ、立派な観光資源になるはずですよ」と力を込めます。



碓氷関所保存会の佐藤健一会長



2016年に実施された侍行列が10月29日に復活



観光ガイド

記念イベント

- 10月中……………安中市学習の森「ふるさと学習館」で企画展「碓氷関所」と講演会を開催。
※企画展は10月21日～2月19日(予定)
- 10月29日(日)…碓氷関所大祭を開催。伝統芸能の獅子舞や八木節、武士行列など。
- 11月11日(土)…旧中山道ウォーク

富岡のまちなかに人が集う場を創出

毎月一回日曜日は

路地裏あいあい

世界遺産の富岡製糸場はもちろんですが、富岡の街は路地裏も魅力的です。モーターゼーションの発達で、まちなかには空洞化が進行しましたが、今でも狭い路地を歩くと肉屋さんやお花屋さん、飲食店など昔ながらの小さな店舗が軒を連ね、人情味のある懐かしい雰囲気に包まれます。コロナ禍を経て、人々が集い交流を深めることのできる路地裏に再注目！

飲んで歌って 泊まれる施設を核に

佐藤純代さんは、富岡製糸場周辺の路地裏の古民家をリノベーションし、食べて飲んで歌って泊まれる「お宿WaiWai・呑み処わいわい・スナック酔ってく？」という名の居酒屋・スナック・宿泊の複合施設をオープンしました。

まずは、人を呼ぶ仕掛けづくりが大切と、毎月一回日曜日に近くの空き地を利用して『路地裏わいわい』というイベントを開催。キッチンカーを呼び、音楽ライブや子どもたちを対象とした路地裏探検スタンプラリーを実施。回を重ねるごとに認知度もアップ。富岡製糸場を自当て



佐藤純代さん

仲間と一緒に 新たなチャレンジ

に訪れる観光客にも、まちなかで一息ついてもらい、地元の人たちと交流できる場づくりに励んでいます。工女たちも歩いた路地裏の魅力を探しに足を運んでみませんか？

友人たちの協力を得て『路地裏わいわい』を開催する佐藤純代さん。以前は、鉄・ステンレス・アルミ各種鋼材の切断メーカーの社長として、現場仕事もこなしてきましたが、今は息子さんに経営を一任。普段は焼き鳥やおでんを提供する居酒屋のカウンターに立ち店を切り盛りしています。普通なら定年退職といったところですが、「冷房も暖房もない環境下での力仕事より、体力的にも今はずっと楽をしています」と、まちなかの路地裏を盛り立てようと張り切っています。地元の人たちと共生を図りながら、イベント開催、飲食や宿泊業など、仲間と手を取り合って新しいことにチャレンジして笑顔が素敵です。



群馬デリバリー楽団 山崎 隆之さん

Instagram



開催時間 11時～17時
富岡市富岡20-23
お宿WaiWai



群馬県信用組合の目指す SDGs

～お客さまからの『ありがとう』が私たちの活力です～



群馬県信用組合は経営理念「創造と貢献」のもと『お客さまのご要望に素早く適確にお応えするため、誠意と熱意とフットワークで行動する金融機関になっている』を経営ビジョンに掲げ、金融サービスを通じて地域のお客さまの生活が豊かになるためのご支援を行い、地域のみなさまが便利で快適に暮らせるよう、さまざまなサービスの提供に取組んでいます。

当組合の経営理念や経営ビジョンは、国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」と趣旨を同じくするものと考え、この取組を継続することで地域社会の発展や持続可能な社会の実現に努めてまいります。

令和5年6月1日
群馬県信用組合

長期経営計画のビジョンとSDGs目標

地域経済

当組合は地域のお客さまとのふれあいを大切にしています。そして、職員一人ひとりが多くのお客さまのご相談相手となれることを目標に日々活動しています。

長期経営計画のビジョン

- ・お客さまから相談を受ける体制が充実し、お客さまのニーズに合った付加価値のあるサービスが提供できる信用組合
- ・「安心して」から「快く」利用していただける信用組合

SDGs目標



具体的な取り組み

- ・中小企業・小規模事業者への金融支援
- ・創業支援・事業承継支援～起業・創業&事業承継相談会を定期的に開催～
- ・地域のお客さまのニーズに対応した融資提案
- ・年金相談会の開催

地域社会・環境

当組合は、日頃から地域との関わりを持つことで「地域への貢献」を心がけています。また営業活動において、特に高齢者様宅への訪問には「声掛け」をおこなうなど、お客さまが安心して生活できるよう心がけています。

長期経営計画のビジョン

- ・地域に必要とされる信用組合
- ・地域に必要とされる役職員が大勢いる信用組合
- ・役職員が日頃から地域と関わりを持ち、地域社会に貢献している信用組合

SDGs目標



具体的な取り組み

- < 地域社会 >
- ・地域清掃活動（毎月第2週水曜日に実施）
 - ・しんくみいきき献血運動（毎年8～9月に献血活動を実施）
 - ・地域行事・お祭り等への参加
 - ・地域の観光振興を担う人材の派遣
- < 環境 >
- ・ペーパーレス化によるCO₂削減
 - ・LED照明化による省エネルギー推進
 - ・クールビズの実施
 - ・グリーンボンドへの投資

人財

当組合は職員がいきいきと働ける職場環境をつくることや、お客さま目線で応対ができる「人」を育てることを目指して人材の育成に取り組んでいます。

長期経営計画のビジョン

- ・職場内の公平性透明性が高く、公正な評価ができる信用組合
- ・職員満足度が高く、いきいきと働ける職場環境がある信用組合
- ・営業店サポート体制が充実している信用組合
- ・お客さま目線で応対ができる人材育成方法が確立している信用組合

SDGs目標



具体的な取り組み

- ・メンター制度による新入職員の能力向上
- ・有給休暇取得の推進と時間外労働の削減によるワークライフバランスの促進
- ・職員の資格取得の奨励と自己啓発の支援
- ・認知症に関する正しい知識と理解を身につける、認知症サポーター養成講座の受講



持続可能な開発目標（SDGs）とは、貧困、不平等・格差、気候変動による影響など、世界のさまざまな問題を根本的に解決し、すべての人たちにとってより良い世界をつくるために設定された、世界共通の17の目標です。



SEKIGUCHI

代表取締役 関口潤さん

狭い場所でも進入できる高所作業車「KX-28」。スパイダー脚で不整地でも安全性は抜群！

「社長や従業員が仕事をしやすい環境を整えることに、やりがいを感じます。掃除や買い出し、大型免許も取得しているの、切り出した木の搬送などを手伝えることもあります。仕事の進捗状況を把握する日報のフォーマットも

「社長や従業員が仕事をしやすい環境を整えることに、やりがいを感じます。掃除や買い出し、大型免許も取得しているの、切り出した木の搬送などを手伝えることもあります。仕事の進捗状況を把握する日報のフォーマットも

企業理念や経営理念、就業規則等の作成や建設業許可証の取得、施工管理や安全面で必要な資格を30種程従業員に取得させ手当を支給。建設業退職金共済制度に加入するなど、様々な取組みを行ってきました。

「今もこうして働けるのは信組時代に自分を育ててくださった沢山のお客様と同僚職員のお陰と感謝しております。恩返しのためにも、今後も会社の発展に尽力します」と澁淵とした笑顔で決意を新たにしました。

「この6月で入社丸2年。信用組合でのキャリアを買われ、会社組織の枠組みをつくるなど、経営や働く環境の整

備を推進しています。社長は職人として最前線で活躍しており、相談事に対しては「任せる！」の一点張りです」と笑う神戸茂樹統括部長。入社当時から「会社・社長・従業員を全方位で支えるパートナーとして最善を尽くす」と意気込みを記した紙をデスクの下敷きに挟んで一番番頭をしています。

また、28メートルの高所まで昇れるコンパクトな高所作業車「KX-28」が大活躍。狭い場所に車体ごと侵入し、背の高い針葉樹など高所での伐採がスムーズ。手元のコントローラーでバケットが左右に動かせるので、作業員の手間や危険が大きく改善されました。神戸統括部長が申請した「モノづくり補助金」のおかげで、購入資金も大幅に抑えられました。

経営環境や職場環境の改善を図る組織作り

避暑地の軽井沢には、針葉樹が多く、別荘地には20メートル以上にもなる高木が生い茂っています。別荘の新築や

リノベーションの需要が拡大し、株式会社セキグチには特殊伐採や石積みなどの引き合いが多く寄せられています。

「この6月で入社丸2年。信用組合でのキャリアを買われ、会社組織の枠組みをつくるなど、経営や働く環境の整

備を推進しています。社長は職人として最前線で活躍しており、相談事に対しては「任せる！」の一点張りです」と笑う神戸茂樹統括部長。入社当時から「会社・社長・従業員を全方位で支えるパートナーとして最善を尽くす」と

「この6月で入社丸2年。信用組合でのキャリアを買われ、会社組織の枠組みをつくるなど、経営や働く環境の整

備を推進しています。社長は職人として最前線で活躍しており、相談事に対しては「任せる！」の一点張りです」と笑う神戸茂樹統括部長。入社当時から「会社・社長・従業員を全方位で支えるパートナーとして最善を尽くす」と

特殊伐採の効率化と安全性を高める高所作業車の導入

同社の強みは「仕上りの早さと丁寧な施工」。経験豊富な職人さんたちが、伐採から片付け、処分まで一貫して行っています。



職人集団から会社組織へ。変革を担う

関東一円や長野県軽井沢町を中心に、立木伐採や特殊伐採、石積み、外構・エクステリア工事などを展開する株式会社セキグチ。神戸茂樹さんは、群馬県信用組合を定年退職後、同社の統括部長を務めています。いわゆる職人集団から会社組織への変革を担うキーマンとして活躍中です！



統括部長 神戸茂樹さん

株式会社セキグチ 軽井沢営業所
長野県北佐久郡軽井沢町大字第地1203-1
TEL:0267-31-6975